



旭川市下水道事業 ウォーターPPP導入検討について

令和8年8月26日
上下水道事業審議会資料

ASAHIKAWA CITY

民間事業者の意見を反映

意見聴取及び官民対話の実施

R 7 年 1 月
アンケート調査

R 7 年 9 月
ヒアリング調査

R 8 年 7 月
意見聴取

R 8 年 7 月
官民対話

民間事業者の参画意向を確認し、対象施設・対象業務の設定に向けた情報収集のため、マーケットサウンディングを実施しています。

意見聴取 質問に対する主な意見

Q1 現時点における事業スキーム案及び事業内容について御意見ありますか。

主な
意見

- ・対象業務に関する**具体的な意見・質問**。
- ・更新実施型から支援型への変更や対象外となった業務に対し、意見なし、あるいは全体最適化やコスト縮減効果の観点から更新実施型への再検討を求める意見。

Q2 中東情勢等の変化に伴う物価高騰や燃料・薬品類及び建設資材の流通不安など、社会情勢の変化を踏まえ、ウォーターPPPに関する貴社の方針に変更はありますか。

主な
意見

- ・事業参入に関する方針に変更はない。
- ・物価変動に応じた単価スライドを適時反映するなど、事業者のリスク負担とならないよう配慮願う。

官民対話 官民対話の結果（主な内容）

樋門の点検業務と緊急時の操作業務の責任分担について（2者）

- ・点検と緊急時の操作が別業務になることで、責任の所在が曖昧になることについての懸念。

廃棄物処理法の取扱いについて（1者）

- ・廃棄物の処理等に関する業務について、再委託の考え方に対する法令上の懸念。

管路の巡視点検・初期対応業務の重複と実態について（2者）

- ・管路の巡視点検時に発見した異常箇所について速やかな応急処置を行うため、それらを一体的に発注すべきとの意見。

統括的な管理業務の項目について（1者）

- ・市が示した「統括的な管理業務」の内容について、縮小できるのではないかと意見。



コストの面での導入効果



ASAHIKAWA
CITY

視点を変えた経費削減効果の検証

前回、ウォーターPPPの導入効果をVFM（Value For Money）を用いて説明しました。
ですが、次の理由から評価の信頼性について疑問が残りました。

- 1 VFMの算出にあたり国が示す「係数」を用いると、算出結果に誤差が大きくなるのではないかと
- 2 一般的にVFMはPFI手法と個別発注手法を比較する場合に用いられる指標であり、すでに官民連携手法の一つである「包括的民間委託」を導入している旭川市でも正しく評価できる指標なのか

そこで今回は、より直接的に「経済性」を評価する方法で導入効果を検証しました。

【現在の発注手法】

処理場運転管理業務（包括） 直接経費 + 諸経費 = 委託料

処理施設点検整備業務 直接経費 + 諸経費 = 委託料

産業廃棄物処理業務 直接経費 + 諸経費 = 委託料

管路維持業務（包括） 直接経費 + 諸経費 = 委託料

管路修繕業務（包括） 直接経費 + 諸経費 = 委託料

老朽度調査業務 直接経費 + 諸経費 = 委託料

ストマネ計画策定業務 直接経費 + 諸経費 = 委託料

【ウォーターPPP】

処理場運転管理業務

処理施設点検整備業務

産業廃棄物処理業務

管路維持業務

管路修繕業務

老朽度調査業務

ストマネ計画策定業務

直接経費 + 諸経費 = 委託料

直接経費が高いほど
諸経費は安くなる

約1.3%の削減
(試算結果)



導入の可否を判断するために①

従来手法との比較（VFM）

- ・ウォーターPPPを導入することによる価値を定量的に評価するためVFM（Value For Money）を算出しました。
- ・VFMは検討が進めばその段階ごとに状況を反映させて評価する必要があります。

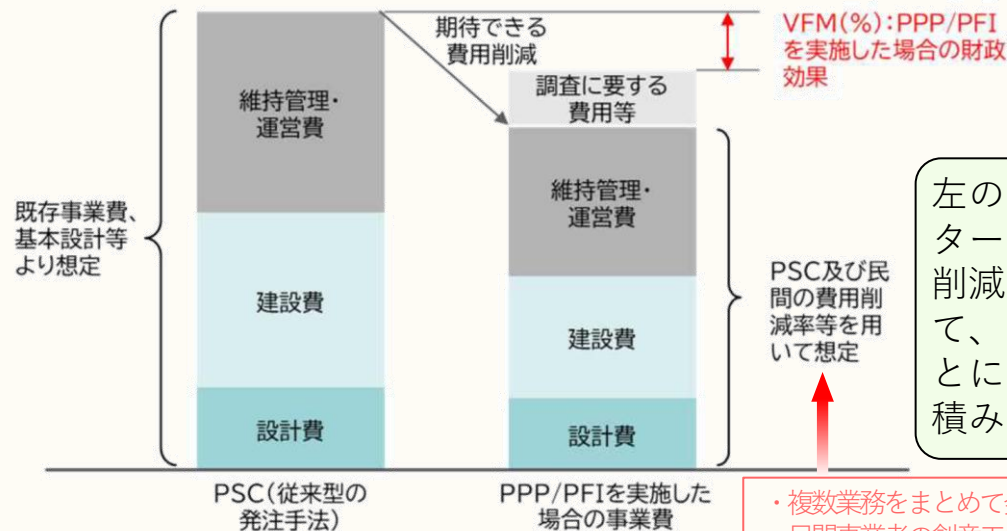
VFM（Value For Money）とは...

- ・公共サービスのコストを最小化する手法を評価するための指標
- 2つの手法の費用の差が従来手法に比べてどのくらいコストダウンするかを示す数値

**財政負担の削減が
期待できる**

= 5.7～7.0%
(試算結果)

現行の包括的民間委託のほか、個別に発注する業務委託や更新工事などの事業費を令和6年度決算をもとに算出した10年間の総事業費



左の総事業費のうち、ウォーターPPPを導入した場合に削減が期待できる業務について、国のガイドライン等をもとに算出した削減後の費用を積み上げた総事業費

- ・複数業務をまとめて発注することによるコストダウン
- ・民間事業者の創意工夫によるコストダウン など